

第3学年「総合」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 様々な情報を活用して調べたり、まとめたりして、自分の考えを発表することができる。

課題 ▼ 自分の考えを表現できる児童とできない児童との差がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 興味・関心のあることから、自分なりの課題を見つけ、調べようとする力。
- ◇ 体験的な活動を通して、自ら学び方を考え判断できる力。

具体的な改善策

- 身近なものを教材とし、自分で課題を見つけられるような授業を行う。活動のまとめを生かして、新たな課題を見つけられるように、学習の振り返りの仕方を工夫する。
- 自分の考えやインタビューしたことを相手に分かりやすく伝えるために、絵地図や新聞など様々な表現方法を教え、自分たちで選び表現させる。
- 社会や理科など、他教科と横断的に学習する。

達成目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。